2024 年度からの引継ぎ事項

【次年度理事⻑候補者選出について】

・次年度理事⻑候補者の⾯接時間を例年より早くしたことにより、発表の時間を予定通り実

施することができた。次年度以降も⾯接時間をなるべく早く設定する、もしくは⾯接日と発

表日を別日に設定することを検討するとよい。

・次年度役員選考委員会の議案を作成する段階で、⾯接および発表の日時を決定しておくこ

とにより、事前に想定したスケジュールで選考を進めることができた。引き続き議案作成時

点で上記のように決定しておくとよい。

【辞退届について】

・本年度は例年より辞退届の提出者が少なかった。引き続き、辞退届の提出を検討している

メンバーがいたら関わりを持っているメンバーからの声かけを行うとよい。やむを得ない

事情により理事を受けることができないメンバーも存在するので、辞退届は存続して運用

方法に関して、受付期間をどうすればよいか、提出する場合次年度や直前との⾯談をおこな

うなどの運用方法を再検討するとよい。

【第一回臨時総会】

・開票を行う際、事務局メンバーに投票用紙が見えないようにする必要がある。事務局メン

バーはただ後ろ向きの紙を集めるだけで、合計数などの確認は次年度役員選考委員会のメ

ンバーが行うとよい。

・監事選出においても理事選出においても、同票数になったときの対応を事前に検討してお

くとよい。監事を2名選出するとして3名が同票数だったとき、2位3位が同票数だった場

合どちらが選出されるのか、もっと大人数同票数だったとき選出される方や次点をどう決

めるのか、など起きる可能性は低くても確実に起きないとはいえない状況に対しての想定

が甘かったなと感じています。対応としては、再度対象者のみで決選投票を行う、などが考

えられます。理事選挙も同様です。